

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 大林道路株式会社

コード番号 1896 URL <http://www.obayashi-road.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 下村 泰久

TEL 03-3618-6500

四半期報告書提出予定日 平成21年8月6日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	13,668	2.2	169		131		37	
21年3月期第1四半期	13,370		832		863		573	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	0.80	
21年3月期第1四半期	12.29	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	71,120	22,998	32.3	493.67
21年3月期	76,168	23,096	30.3	495.72

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 22,998百万円 21年3月期 23,096百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				3.00	3.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)				3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	36,500	0.7	400		460		380		8.16
通期	97,400	5.3	1,850	30.8	1,770	29.7	770	116.6	16.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	46,818,807株	21年3月期	46,818,807株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	232,055株	21年3月期	226,197株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	46,589,342株	21年3月期第1四半期	46,619,849株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

## (参考) 個別業績予想

平成22年 3 月期の個別業績予想(平成21年 4 月 1 日～平成22年 3 月31日)

( %表示は通期は対前期、第 2 四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期累計期間	36,500	1.1	400	-	440	-	360	-	7.73
通期	97,000	5.2	1,800	29.6	1,700	27.1	700	108.3	15.03

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

個別業績予想については、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の大幅な悪化による設備投資の減少や失業率の増加により厳しい状況にあるものの、輸出や生産は改善しつつあり、個人消費にも一部で明るい兆しがみられました。

道路建設業界におきましては、政府の経済対策により公共工事は増加するものと期待されますが、冷え込んだ民間設備投資は依然として低迷しており、厳しい受注環境でありました。

このような状況の下で、当社グループは、工事受注量及び製品販売量の確保に努めてまいりましたが、受注高は前年同四半期と比べ11.7%減の181億2千8百万円、売上高は前年同四半期と比べ2.2%増の136億6千8百万円となりました。

利益につきましては、公共工事増加に伴い製品売上高の増加及び原材料価格低下による製品売上利益が改善し、売上総利益は前年同四半期と比べ8億6千6百万円増の14億1千3百万円、経常利益は9億9千4百万円増の1億3千1百万円となりました。

四半期純利益につきましては、前年同四半期と比べ6億1千万円増の3千7百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、第4四半期連結会計期間に完成する工事及び施工が集中するため、繰越高が増加し売上高が減少するので、「未成工事支出金」が増加し「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ50億4千7百万円減の711億2千万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、工事の完成引渡し及び施工が第4四半期連結会計期間に集中するといった季節的変動により売上高が連結会計年度内で最も低調な時期であるため、「支払手形・工事未払金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ49億4千8百万円減の481億2千2百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度の利益処分を計上したことから、前連結会計年度末に比べ9千8百万円減の229億9千8百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、主に売上債権の回収が順調に推移したことにより営業キャッシュ・フローが増加した結果、期首と比較して50億3千8百万円増加し、149億4千6百万円(前年同四半期比17.2%増)となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

建設事業での工事の完成引渡し及び施工が第4四半期連結会計期間に集中するといった季節的変動要因により売上高が低調な時期であります順調に売上債権の回収が推移したため、売上債権が大きく減少したことと未成工事受入金の増加により、営業活動によるキャッシュ・フローは61億4百万円のプラス(前年同四半期は65億4千9百万円のプラス)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

アスファルト混合所設備の更新等の固定資産の取得に伴う支出により、投資活動によるキャッシュ・フローは3億4百万円のマイナス(前年同四半期は1億8百万円のマイナス)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済と配当金の支払いにより、財務活動によるキャッシュ・フローは7億6千1百万円のマイナス(前年同四半期は3億5千8百万円のマイナス)となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、今後の受注高は減少傾向が見込まれるとともに、原油価格の高騰による原材料価格の高騰が懸念されることから、平成21年5月13日に公表しました「平成21年3月期 決算短信」における業績予想の変更はいたしておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

一般債権の貸倒見積高の算定方法については、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒見積率を使用しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、売上高は571百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,946	9,908
受取手形・完成工事未収入金等	18,703	31,865
有価証券	-	20
販売用不動産	17	17
未成工事支出金	14,326	10,905
材料貯蔵品	400	339
その他	1,770	2,344
貸倒引当金	28	48
流動資産合計	50,136	55,352
固定資産		
有形固定資産		
土地	11,740	11,740
その他 ( 純額 )	5,372	5,304
有形固定資産合計	17,112	17,045
無形固定資産	269	279
投資その他の資産		
その他	4,232	4,115
貸倒引当金	630	625
投資その他の資産合計	3,601	3,490
固定資産合計	20,983	20,815
資産合計	71,120	76,168

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	23,468	29,857
短期借入金	5,800	6,400
未払法人税等	105	817
未成工事受入金	8,795	6,223
完成工事補償引当金	53	54
工事損失引当金	530	900
その他	3,083	2,497
流動負債合計	41,836	46,750
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,044	2,044
退職給付引当金	4,078	4,096
その他	162	179
固定負債合計	6,285	6,320
負債合計	48,122	53,071
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	10,601	10,704
自己株式	48	47
株主資本合計	22,942	23,046
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90	85
土地再評価差額金	34	34
評価・換算差額等合計	55	50
純資産合計	22,998	23,096
負債純資産合計	71,120	76,168

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
 ( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)
売上高	13,370	13,668
売上原価	12,823	12,254
売上総利益	547	1,413
販売費及び一般管理費	1,379	1,244
営業利益又は営業損失 ( )	832	169
営業外収益		
受取利息	9	2
受取配当金	3	2
技術指導料	4	4
その他	4	4
営業外収益合計	22	13
営業外費用		
支払利息	35	33
持分法による投資損失	14	11
その他	3	6
営業外費用合計	53	51
経常利益又は経常損失 ( )	863	131
特別利益		
固定資産売却益	5	0
貸倒引当金戻入額	29	25
その他	-	0
特別利益合計	35	25
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	10	15
たな卸資産評価損	10	-
その他	1	1
特別損失合計	24	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ( )	853	139
法人税、住民税及び事業税	37	18
法人税等調整額	317	83
法人税等合計	280	102
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	573	37

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	853	139
減価償却費	297	297
貸倒引当金の増減額( は減少)	2	14
退職給付引当金の増減額( は減少)	27	17
受取利息及び受取配当金	12	4
支払利息	35	33
持分法による投資損益( は益)	14	11
売上債権の増減額( は増加)	16,830	13,131
未成工事支出金の増減額( は増加)	5,179	3,418
仕入債務の増減額( は減少)	6,998	6,388
未成工事受入金の増減額( は減少)	2,492	2,571
預り金の増減額( は減少)	421	221
その他	220	273
小計	7,243	6,835
利息及び配当金の受取額	12	5
利息の支払額	34	40
法人税等の支払額	672	695
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,549	6,104
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	91	296
投資有価証券の取得による支出	-	20
投資有価証券の償還による収入	-	20
その他	16	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	108	304
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	200	600
リース債務の返済による支出	18	20
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	139	139
財務活動によるキャッシュ・フロー	358	761
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	6,085	5,038
現金及び現金同等物の期首残高	6,664	9,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,750	14,946

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	建設事業 (百万円)	製造・販売他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,947	2,422	13,370	-	13,370
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1,245	1,245	(1,245)	-
計	10,947	3,668	14,615	(1,245)	13,370
営業損失( )	31	187	218	(613)	832

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	建設事業 (百万円)	製造・販売他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,779	2,889	13,668	-	13,668
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1,246	1,246	(1,246)	-
計	10,779	4,135	14,915	(1,246)	13,668
営業利益	50	706	757	(587)	169

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業の内容

## (1) 事業区分の方法

日本標準産業分類及び連結損益計算書の売上集計区分を勘案して区分しております。

## (2) 各事業区分に属する主要な内容

建設事業：舗装、土木、建築工事その他建設工事全般に関する事業

製造・販売他事業：アスファルト合材等舗装用材料の製造・販売に関する事業他

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考」 四半期個別財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,792	9,748
受取手形	5,291	5,201
完成工事未収入金	11,364	23,072
売掛金	2,024	3,527
有価証券	-	20
販売用不動産	17	17
未成工事支出金	14,238	10,845
材料貯蔵品	400	339
その他	1,753	2,339
貸倒引当金	28	48
流動資産合計	49,855	55,064
固定資産		
有形固定資産		
土地	11,740	11,740
その他(純額)	5,356	5,286
有形固定資産合計	17,096	17,027
無形固定資産	268	278
投資その他の資産		
その他	4,237	4,105
貸倒引当金	630	625
投資その他の資産合計	3,607	3,480
固定資産合計	20,972	20,786
資産合計	70,828	75,850

(単位:百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	13,423	12,727
工事未払金	8,107	13,141
買掛金	1,908	3,947
短期借入金	5,800	6,400
未払法人税等	104	810
未成工事受入金	8,733	6,180
完成工事補償引当金	53	54
工事損失引当金	530	900
その他	3,079	2,495
流動負債合計	41,741	46,658
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,044	2,044
退職給付引当金	4,078	4,096
その他	162	179
固定負債合計	6,285	6,320
負債合計	48,027	52,979
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	10,403	10,478
自己株式	48	47
株主資本合計	22,745	22,820
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90	85
土地再評価差額金	34	34
評価・換算差額等合計	55	50
純資産合計	22,800	22,871
負債純資産合計	70,828	75,850

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## ( 2 ) 四半期損益計算書 ( 第 1 四半期累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 1 四半期累計期間 ( 自平成20年 4 月 1 日 至平成20年 6 月30日 )	当第 1 四半期累計期間 ( 自平成21年 4 月 1 日 至平成21年 6 月30日 )
売上高		
完成工事高	10,946	10,763
製品売上高	2,419	2,888
売上高合計	13,366	13,652
売上原価		
完成工事原価	10,316	10,131
製品売上原価	2,521	2,111
売上原価合計	12,837	12,243
売上総利益		
完成工事総利益	630	632
製品売上総利益又は製品売上総損失 ( )	102	776
売上総利益合計	528	1,409
販売費及び一般管理費	1,365	1,225
営業利益又は営業損失 ( )	836	183
営業外収益		
受取利息	9	2
受取配当金	3	3
技術指導料	4	4
その他	4	4
営業外収益合計	22	14
営業外費用		
支払利息	35	33
その他	3	6
営業外費用合計	39	40
経常利益又は経常損失 ( )	854	158
特別利益		
固定資産売却益	5	0
貸倒引当金戻入額	29	25
その他	-	0
特別利益合計	35	25
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	10	15
たな卸資産評価損	10	-
その他	1	1
特別損失合計	24	17
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ( )	843	166
法人税、住民税及び事業税	36	18
法人税等調整額	318	82
法人税等合計	281	101
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	561	64

( 注 ) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## 6. その他の情報

## (1) 個別業績の概況

平成22年3月期第1四半期の個別業績(平成21年4月1日~平成21年6月30日)

個別経営成績(累計)

( %表示は対前年同四半期増減率 )

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	13,652	2.1	183	-	158	-	64	-
21年3月期第1四半期	13,366	-	836	-	854	-	561	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.39	-
21年3月期第1四半期	12.05	-

個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	70,828	22,800	32.2	489.42
21年3月期	75,850	22,871	30.2	490.88

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 22,800百万円 21年3月期 22,871百万円

(注) 上記の個別業績は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (2) 個別の受注・売上・繰越高

- a. 平成22年3月期第1四半期の個別受注実績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)  
(百万円未満切捨て)

	受注高	
平成22年3月期第1四半期	18,102百万円	11.3%
平成21年3月期第1四半期	20,400百万円	15.1%

- (注) 1. 受注高は、当第1四半期まで累計額  
2. パーセント表示は、前年同四半期比較増減率

- b. 平成22年3月期の個別受注予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)  
(百万円未満切捨て)

	第2四半期累計期間		通 期	
平成22年3月期予想	44,000百万円	8.0%	94,500百万円	4.4%
平成21年3月期実績	40,748百万円	13.1%	90,526百万円	12.0%

- (注) パーセント表示は、前期比増減率

- c. 受注実績内訳  
(百万円未満切捨て)

区 分	平成21年3月期 第1四半期		平成22年3月期 第1四半期		比較増減 (百万円)	増減率 (%)
	受注高 (百万円)	構成比 (%)	受注高 (百万円)	構成比 (%)		
工 事 部 門	国内官公庁	4,382	21.5	4,856	474	10.8
	国内民間	13,598	66.7	10,356	3,241	23.8
	海 外	-	-	-	-	-
	計	17,980	88.2	15,213	2,767	15.4
製 品 部 門	2,419	11.8	2,888	16.0	468	19.4
合 計	20,400	100	18,102	100	2,298	11.3